

「その翌日、祭りに来ていた大ぜいの人の群れは、イエスがエルサレムに来ようとしておられると聞いて、しゅろの木の枝を取って、出迎えのために出て行った。そして大声で叫んだ。

『ホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られる方に。イスラエルの王に。』ヨハネ 12:12-13

私がまだ幼い子供の時のこと、天皇陛下が私の実家の保育園の近くに来られるということがありました。近くに来られる、といっても、保育園の横の道路を御料車（天皇陛下が乗っておられる自動車）が通り過ぎるということです。それでもその保育園の園児も先生も、そしてその実家に滞在していた私も、そして近所の人たちも総出で沿道に立ちました。こうして皆が国旗を手に持って、御料車が通るのをお待ちしました。しばらくするとガラス越しに手を振る陛下が一瞬ですが目の前を通り過ぎられ、私たちは「天皇陛下バンザーイ！」とみんなで叫んだのでした。この時の天皇陛下とは、もちろん昭和天皇のことです。それから平成が訪れたのは、私が学生だった時のこと。そして今は日本は令和の時代です。この令和になっても、例えば正月の一般参賀の時などは、そのような光景が見られるわけです。

イエス様をお迎えした群衆は、そのような感じだったのでしょか。いえ、もっともっと熱狂してお迎えしたことでしょか。私たちは救い主イエス様を、どのようにこの心にお迎えするでしょうか。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024年3月24日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「主を仰ぎ見て、光を得よ」

詩篇34:5

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20

礼拝は短縮して持たれています。

礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラスなどは、現在休止しています。

